

沖縄県公安委員会定例会会議録（令和８年７月16日）

1 主な報告等

(1) 沖縄県警察における特定事業主行動計画の実施状況及び女性の活躍状況の公表について

警察本部から「県警察における「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」及び「次世代育成支援対策推進法」に基づく特定事業主行動計画として、沖縄県警察におけるワークライフバランス等のための取組計画を策定し、各種取組を推進している。令和８年度４月１日時点の取組状況について、「全職員に占める女性職員の割合」については、警察官が12.2%、一般職員は64.3%である。「職員給与における男女の差異」については、男性の給与に対する女性の給与の割合は80.7%である。「管理的地位にある職員に占める女性職員の割合」は7.6%である。「出産・育児に伴う男性職員の休暇取得状況」は、育児休業取得率は77.7%、男性職員の産休取得者率は50.6%、男性職員の産休取得率は98.8%である。「職員１人当たりの年次休暇取得の状況」は、警察本部は13.8日、警察署は11.8日である。「職員１人当たりの時間外勤務の状況」は、警察本部は14.6時間、警察署は20.5時間である。」旨説明があった。

公安委員から「多くの人がハラスメントではないと思うことも、一部の人はハラスメントであると思うものもあることから、ハラスメントにかかる共通認識を合わせる工夫をすることも大切である。」旨発言があった。

公安委員から「警察学校での女性警察官の比率が増加しているのは良いことだが、引き続き、バランス良く女性警察官の採用を行ってほしい。」旨発言があった。

(2) 令和８年上半期における人身安全関連事案の取扱状況等について（暫定値）

警察本部から「令和８年６月末時点の令和８年上半期における人身安全関連事案について、DV事案については、相談件数は493件、保護命令件数は14件、検挙件数は66件である。ストーカー事案については、相談件数は124件、文書警告件数は6件、禁止命令件数は61件、検挙件数は35件である。恋愛感情等のもつれに起因する暴力的事案・非定型事案については、相談件数は1347件、検挙件数は93件である。行方不明事案については、受理件数は543件、そのうち発見された件数は450件である。」旨説明があった。

公安委員から「人身安全関連事案は、きめ細やかに、かつ忍耐強く対応しなければならない。よくやっていると評価している。」旨発言があった。

(3) 匿名・流動型犯罪グループによる特殊詐欺事件の検挙について

警察本部から「本年４月３日から９日までの間、浦添市、読谷村、北谷町等において、役所職員等をかたって90代女性等被害者３名の固定電話に架電し、「保険料の払い戻しがあるので、職員にキャッシュカードを取りに行かせる。」旨嘘を言い、暗証番号を聞き出し、その旨誤信した被害者からキャッシュカードをだまし取り、ＡＴＭで現金合計150万円が引き出される特殊詐欺事件が連続発生した。同事件について、防犯カメラリレー捜査等により、キャッシュカードを受け取り、現金を引き

出した受け子役被疑者（当時21歳）を特定、警戒中の捜査員が同人を発見し、5月10日通常逮捕、その他余罪で5月13日に再逮捕した。同事件にかかる突き上げ捜査により、同受け子の仕事を紹介したリクルーター役被疑者（当時22歳）が浮上し、静岡県内での偽警察官詐欺事件（被害総額約1000万円）が判明した。同受け子役被疑者や同リクルーター役被疑者は、氏名不詳の指示役らと匿名性の高いアプリでやりとりしてることを確認し、共犯性を特定のうえ、6月8日に同受け子役被疑者を再逮捕した。同リクルーター役被疑者も同日、岐阜県内において通常逮捕し、同事件に係る余罪で新たに現金回収役被疑者（当時20歳）を特定し、7月6日に通常逮捕した。」旨説明があった。

公安委員から「脅された受け子が犯罪を行った等のテレビ報道があるが、本件はどうか」旨質問があり、警察本部から「本件は、受け子とリクルーターが知人関係で脅されていたわけではない。また、本件については、犯行グループ別にアプリデータの消し忘れ等のミスがあった。このような犯罪グループの隙を見極め、検挙していくことが重要であることから、しっかり対応していきたい。」旨説明があった。

(4) 危険運転致死事件被疑者の検挙について

警察本部から「本年5月21日午後10時50分頃、糸満市西崎町4丁目先路上において発生した死亡事故について、目撃者からの供述やドライブレコーダー映像等により、被疑者が赤信号を無視して交差点に侵入し、本件事故を起こしたことが判明したことから、所用の捜査を行い、糸満市居住の飲食店従業員（27歳）を6月12日に危険運転致死罪（殊更信号無視）で通常逮捕した。また、7月2日同被疑者を医薬品医療機器法違反（エトミデート所持）で通常逮捕した。」旨説明があった。

公安委員から「その薬物使用が運転に影響していたのか。」旨質問があり、警察本部から「現在捜査中である。」旨説明があった。

公安委員から「速度超過も原因か。」旨質問があり、警察本部から「100キロ近くで速度で走行していたと思われるが、現在捜査中である。」旨説明があった。

(5) 令和8年台風9号に伴う災害警備対応結果について

警察本部から「台風第9号に伴う災害警備対応について、7月11日本部長以下498人の災害警備本部を設置した。同台風による被害は人的被害はないものの、信号機滅灯が131基、標識柱折損9本等の被害が発生した。7月8日から同月12日までの間、災害対応体制（救出救助）強化を目的として、機動隊レスキュー部隊を県警ヘリ等で宮古島、八重山警察署へそれぞれ派遣し、石垣市内における道路上の倒木撤去対応に当たった。本派遣は台風接近前に離島署に部隊派遣した初の事例である。」旨説明があった。

公安委員から「台風接近前に離島署に部隊派遣したのは画期的である。」旨発言があった。

公安委員から「台風の進路について見当をどうつけるかが大事であり、ノウハウを集積していくことも大事である。」旨発言があった。

(6) その他

警察本部から「女性幹部の登用に当たっては、計画的に経験を積ませる等してその地位につけることが重要であることから、計画的な登用をしっかりと進めていく

い。人身安全関連事案については、まずは、相談者からの話をよく聞きつつ、丁寧に制度の説明も行い、事案の危険度を見極めどのような対応を行っていくのか適切に判断していきたい。」旨説明があった。

2 主な決裁等

(1) 警務部

- ・ 公安委員会宛て苦情の受理について
- ・ 公安委員会宛て意見要望について
- ・ 第2四半期警察宛て苦情の受理及び処理状況について
- ・ 裁決書の裁決について（2件）
- ・ 審査請求の受付について

(2) 生安部

- ・ 公安委員会宛て苦情の調査結果について（2件）

(3) 交通部

- ・ 公安委員会宛て苦情の調査結果について（2件）
- ・ 自動車運転免許の行政処分について

(4) 警備部

- ・ 警察職員の援助要求について